

## [参考]

### 1. 国際サンゴ礁シンポジウム (ICRS) のこれまでの開催状況

1969年(第1回) マダガスカル(インド)	1988年(第6回) タウンズビル(オーストラリア)
1973年(第2回) グレートバリアリーフ(オーストラリア)	1992年(第7回) グアム(アメリカ合衆国)
1977年(第3回) マイアミ(アメリカ合衆国)	1996年(第8回) パナマ(パナマ)
1981年(第4回) マニラ(フィリピン)	2000年(第9回) バリ(インドネシア)
1985年(第5回) 死海(フランス領ポリネシア)	2004年(第10回) 沖縄(日本)

### 2. 第10回国際サンゴ礁シンポジウム組織委員会

会長：山里 清(日本サンゴ礁学会会長)  
組織委員長：土屋 誠(琉球大学教授)  
事務局長：茅根 創(東京大学大学院助教授)

鈴木 款(静岡大学教授)	中森 亨(東北大学大学院助教授)
日高 道雄(琉球大学教授)	新垣 裕治(名桜大学助教授)
松田 伸也(琉球大学助教授)	中野 義勝(琉球大学技官)
灘岡 和夫(東京工業大学大学院教授)	中井 達郎(国土館大学講師)
堺 孝一((有)ピーズ代表取締役)	立田 穰((財)電力中央研究所主任研究員)
濱田 隆士(日本科学協会理事長)	近森 正(帝京平成大学教授)
小西 健二(金沢大学名誉教授)	山野 博哉((独)国立環境研究所主任研究員)
波利井 佐紀(東京工業大学助手)	大森 信((財)阿嘉島臨海研究所 所長)
高橋 啓介(環境省)	菅 浩伸(岡山大学助教授)

### 3. 国際サンゴ礁学会 (ISRS: International Society for Reef Studies)

設立：1980年

目的：サンゴ礁に関する理解と科学的知見の普及を通じた公共の利益の推進

組織構成：会長 ニコラス・ポルーニン(ニューキャッスル大学)  
副会長 リチャード・アロンソン(ドーフィン島海洋研究所)  
会員数 916人

主な活動内容：

- ・国際サンゴ礁シンポジウムの開催
- ・出版物の発行
  - 「学会誌“Coral Reefs”
  - 「ニュースレター“Reef Encounter”

### 4. 日本サンゴ礁学会 (JCRS: Japanese Coral Reef Society)

設立：1997年

目的：サンゴ礁研究の発展に寄与し、学際的知識の進歩およびその普及を図る

組織構成：会長 山里 清(琉球大学名誉教授)  
副会長 小西 健二(金沢大学名誉教授)  
事務局長 茅根 創(東京大学助教授)  
会員数 390人

主な活動内容：

- ・年に1回の総会と大会(サンゴ礁に関する研究成果を発表する場)の開催
- ・出版物の発行
  - 「日本サンゴ礁学会誌“Galaxea”(年1回)
  - 「日本サンゴ礁学会ニュースレター」(年4回)
  - 「日本におけるサンゴ礁研究 I」(2002年1月)